



阿部不動産
金井悦子さん

転入のきっかけは 『あきしまの水』

拝島駅南口、ロータリーに面したビルの1階が阿部不動産です。設立は2001年。約10年前にお母さまから経営を引き継ぎ、代表を務める金井悦子さんは、『あきしまの水』が理由で5歳の



のときに昭島市に転入した経緯を持ちます。「子どもの頃、ひどいアトピー性皮膚炎で、主治医から“水がいいまちへ引っ越せば改善するかもしれない”と勧められ、家族で昭島市に

引っ越しました」と金井さんは昭島に住み始めたきっかけを話します。

昭島に転入し、日々の生活で自然と『あきしまの水』を使うようになる中で、症状が改善したこと、から、『あきしまの水』のきれいなさを実感したそうです。

金井さんは「旅先などで、『あきしまの水』がいかに美味しいか、実感させられます。お茶もみそ汁も味が違います。また、同じシャンプーで洗髪しても、『あきしまの水』で流すと髪がツルツルしているように感じます」と明かします。



『あきしまの水』が使える物件は 自信を持ってお勧め

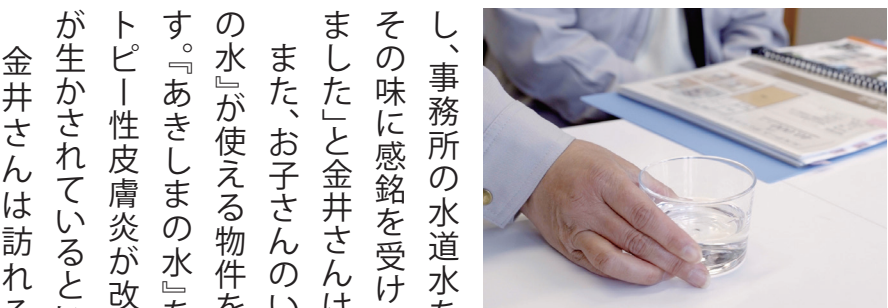


不動産会社を営む金井さんにとって、『あきしまの水』は物件を紹介する上で重要なポイントになっているようです。「不動産会社はそのまちに住む人が最初に訪れる場所ではないでしょうか。意識しているのは治安の良さに加えて、水の美味しさです」と日々の業務で心がけていることを話す金井さん。

下水100%の『あきしまの水』で作ると、同じ料理でも味が違うため、昭島の物件を勧めるそうです。

「数年前に来社された。パスタ屋さんには、昭島の物件をお勧めし、事務所の水道水を飲んでもらいました。その味に感銘を受けていただき、契約に至りました」と金井さんは振り返ります。

また、お子さんのいる家庭にも、『あきしまの水』が使える物件を積極的に推奨しています。『あきしまの水』を使う中で、ご自身のアトピー性皮膚炎が改善された幼少期の経験が生かされているといえるでしょう。



金井さんは訪れる人々に対して自信を

持って『あきしまの水』が使える物件を紹介しているそうです。

拝島駅前にオープンした 憩いの空間



金井さんは令和7年11月、阿部不動産が入居しているビルの3階にレコード喫茶「ぷらっせ」をオープンしました。お店の片面をレコードラックとして、約1000枚のレコードが並んでいます。

金井さんは「昭島で約10年、会社の代表を務め、これからはまちの皆さんに還元させていただくターンに入っ



に座って、『あきしまの水』で淹れたコーヒーや拝島ハイボールを飲むと最高ですよ」と笑顔で話す金井さん。

拝島駅前で昭島の玄関口として事業を営む金井さんは『あきしまの水』への愛が溢れています。



たと思い、集える場所をオープンしました」と話します。

窓側に配したカウンター席からは、奥多摩などの山々が望めるロケーションです。「ここ